

これまでの主要な業務実績

- 1991 株式会社 生態計画研究所 設立** ●：施設運営業務
- 新潟県立こども自然王国 基本構想
 - 1991~94 ○米子水鳥公園 基本計画、設計、展示製作
 - 1991~93 ○南アルプス 野鳥公園 基本計画、設計
 - 1993~94 ○千葉県環境学習ガイドブックの作成
 - 1995~98 ○ぐんま昆虫の森 基本計画策定
 - 1996~05 ○国総研 エコロジカルネットワーク調査計画策定
 - 1996 ○札幌ドーム生態環境計画の策定
 - 1997 ○新潟県高柳町グリーンツーリズム構想の策定
 - 1997~98 ○昭和記念公園エコアップ調査
 - 東京都三鷹市「丸池復活ワークショップ」運営
 - プロジェクトワールド・教材作成
 - 1998~99 ○市民参加による生物多様性回復手法調査
 - 1998~00 ○群馬県におけるオオタカ生態調査
 - 1999~ ●国営木曾三川公園「自然発見館」環境教育PG運営業務を受託
 - 2000~ ○高柳町じよんのびツーリズム、トレイルマップ・サイン作成
 - 2000~01 ○山口博覧会、環境学習部門プロデュース、PG展示教材の作成
 - 2002 特定非営利活動法人 生態教育センター 設立**
 - 2002~04 ○国営アルプスあづみの公園 公園利用促進計画の策定
 - 2003~ ●東京都北区立「自然ふれあい情報館」管理運営業務を受託
 - 2003~05 ○2005年国際博覧会、地球市民村出展準備計画・実施
 - 2004~ ●東京都立葛西臨海公園鳥類園環境管理及びPG提供業務を受託
 - 世田谷区立「桜丘すみれは自然庭園」解説業務を受託
 - 2005~08 ○新潟県立こども自然王国 管理運営業務を受託
 - 2006~ ●堺市「堺自然ふれあいの森」指定管理業務を受託
 - 2006~08 ○国営海の中道海浜公園「環境共生の森」育成、環境学習PG運営業務
 - 2007~08 ○国営沖縄記念公園「海洋博覧会地区」環境教育PGの作成
 - 2007~ ●葛飾区立「水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム」運営管理業務を受託
 - 2008~ ●山梨県早川町「野鳥公園」「ヘルシー美里」指定管理業務を受託
 - 2008~11 ○練馬区自然環境調査を受託
 - 2009~ ●新潟県立「こども自然王国」指定管理業務を受託
 - 環境省生物多様性センター「いきものみつけPJ」運営補助業務を受託
 - 2009 ○北区「緑の基本計画」策定業務を受託
 - 2009~ ○NPO法人生態教育センターとの協働事業として「お庭の生きもの調査」を開始
 - 2009~10 ○水元小合溜・水質保全対策調査を受託
 - 2010~ ●都立「小峰公園」環境教育PG運営業務を受託
 - 2010~11 ○三鷹市「緑の基本計画」策定業務を受託
 - 2011~13 ○自然環境情報ひろば「丸の内さえずり館」常設展示の運営
 - 2012~13 ○「わたりグリーンベルト・PJ」の支援・基本構想の策定
 - マルイグループ 生物多様性調査・サイン計画
 - 2014~ ○豊島区の生きもの情報共有事業支援業務
 - 2014~15 ○町田市北部丘陵里山維持保全実施計画作成業務
 - 2015~ ●千葉県習志野市立谷津干潟自然観察センター指定管理業務
 - 2015~ ○「いきもの共生事業所®」認証取得のための生物調査・コミュニティ形成業務
 - 2015~16 ○大成建設 大手町の森生態調査業務
 - 2015~17 ○都市農村共生・対流総合対策交付金事業の支援
 - 2016 ○羽生水郷公園指定管理者事業計画書作成業務
 - 2016~ ○JTB立川 瑞穂町ふるさとづくり推進事業
 - 2016~19 ○県民の森利用実施計画作成業務を受託
 - 2016~20 ○みずほ総研 遠野生物多様性評価
 - 2016~ ○日比谷アメニス 港区こもれびの森プロジェクト コンサルティング業務
 - 2018~ ●南アルプス市エコバ伊奈ヶ湖運営管理業務を受託
 - 2018~ ●東京都北区立「みどり環境情報館」管理運営業務を受託
 - 2019~ ○椎葉村 生物多様性調査業務
 - 2019 ○堺市 幼児期における自然環境を通じたあそびと学びに関する調査研究業務
 - 2019~24 ●山梨県立森林公園「金川の森」環境教育PG運営業務を受託
 - 2020~ ●国営昭和記念公園 環境学習PG運営補助業務を受託
 - 2020~ ○大手町・丸の内・有楽町エリア等周辺における生物多様性調査

生態計画研究所の概要

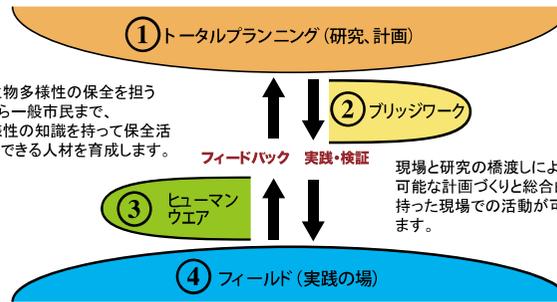
■生態環境についての保全と教育を両翼とするシンク・ドゥタンクです。

1991年に設立され、わが国では最も早い時期から生態計画(生態環境の保全と環境教育の推進に係るプランニングとその実践)を専門領域として活動してきた、民間のシンク・ドゥタンクです。現在は、主に教育事業を展開するNPO法人 生態教育センターと協働して、生きものや人の共生社会の実現をめざし、生物多様性の保全と回復、環境教育と自然解説、自然と共生する地域づくりまで、幅広い研究・実践活動を行っています。



(株)生態計画研究所
公式サイト

■実践と研究を同時に行うからこそ、質の高い活動が展開できます。



地域生物多様性の保全を担う子どもから一般市民まで、生物多様性の知識を持って保全活動を継続できる人材を育成します。

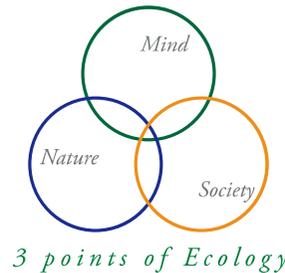
②ブリッジワーク

③ヒューマンウェア

現場と研究の橋渡しにより、実現可能な計画づくりと総合的視野を持った現場での活動が可能となります。

■自然・社会・こころ 基本理念は三つのエコロジー

自然との関わり：自然のエコロジー
社会との関わり：社会のエコロジー
精神との関わり：こころのエコロジー



この三つの視点を持つ生態的哲学(エコゾフィー)の実践が企業活動の基本理念です。持続可能な社会形成に向けて、人と自然、人と人、そして人と自らの精神(こころ)とのよりよい関係を導くためにこれらの基本理念に基づいて事業を展開しています。

株式会社 生態計画研究所

<https://www.eco-plan.jp/>



since 1991

ECO PLANNING RESEARCH

〒189-0013 東京都東村山市栄町2-28-5 小河原ビル3F
TEL:042-390-0098 FAX:042-390-1237
e-mail: eco@eco-plan.jp

2025.04

生物多様性に関するコンサルティング (調査・計画・管理など)

生物多様性に関する調査研究、保全や再生、環境づくりなど、多様な分野に対してのコンサルティングを行っています。経験豊かなスタッフが、現場の状況やニーズに合わせて業務にあたります。



自然環境調査の実施

1998年「市民参加による生物多様性回復手法」を国の機関と開発。2009年には環境省「いきものみつけ」事業の解説パンフ・データ解説などを受託。2008～2011年練馬区、2014年～豊島区、2014年墨田区。2015年には国分寺市の自然環境調査および市民参加型調査を受託。



墨田区万華池 市民参加によるかいほりと調査

生物多様性の解析・評価



札幌ドーム

1996年から生態ネットワークの評価技術に関する研究業務に携わっています。1997年には、その技術を用いて札幌ドームの緑地計画づくりに調査の段階から関わり、現在もモニタリング調査業務を担当しています。大規模な積水ハウス、三菱地所、マルイグループ、キンピーナルなど、多くの民間企業による創出緑地の評価も行っています。

生きもの施設の計画・設計

1991年「米子水鳥公園」調査・計画・設計、「南アルプス野鳥公園」計画・設計、1995年「ぐんま昆虫の森」基本計画、1997年「多々良沼公園」整備計画を受託。1997年「三鷹市丸池の里ワークショップ」は、市民参加のまちづくり自治大臣賞を受賞。2000年から地域住民との協働によりできた世田谷区「桜丘すみれば自然庭園」の計画や解説員の派遣を行っています。また、2008年には下水処理水を活用した袖ヶ浦市「学びのせせらぎ」の計画・設計・監理、その他、公園や学校、工場等のヒートアップも、数多く計画・整備しています。



三鷹市丸池の里

緑の基本計画など地域計画の策定



三鷹市まちあるきワークショップ

1996年から国の機関と共に「生態ネットワークの評価技術」を開発。2004年「自然環境保全再生指針」(千葉県市川市)、2009年「北区緑の基本計画」(東京都北区)等を策定。2010～2011年「三鷹市緑の基本計画」市民参加ワークショップの担当、2012～2013年宮城県亘理町の海岸林等の再生を住民と進める「わたりグリーンベルトプロジェクト」支援、2013年「豊島区生物多様性戦略策定支援業務」など、地域振興アドバイザーとして、生物多様性の視点から日本中の地域づくりをお手伝いしています。

国営昭和記念公園 (東京都立川市)

2020～

都会のオアシス、日本を代表する国営公園。公園の緑地の価値や楽しみ方を伝える環境学習プログラム運営補助業務に人材を派遣しています。



小峰ふれあい自然郷 (東京都あきる野市)

都立秋川丘陵自然公園の中心施設である小峰公園には、小峰ビジターセンターがあり、公園での多様な環境教育プログラムの運営業務に、人材を派遣しています。

環境教育施設の管理運営

指定管理4ヶ所、業務委託10か所の全国各地のフィールドを管理運営し年間60万人を超える利用者への生態教育プログラムの提供や生物多様性の保全と地域連携を進めています。



新潟県立こども自然王国 (新潟県柏崎市) 2005～

指定管理: 2009～

野外体験宿泊型(180人定員)の大型児童館。体験工房や野外園地、キャンプ場、スキー場などを有しています。自然を活かした遊びや体験プログラムを、一般家族や子ども会、保育園、小中学校等へ提供しています。



堺 自然ふれあいの森 (大阪府堺市) 指定管理: 2006～

堺市の最南端に残された、豊かな自然環境や生きものの生育・生息地を保全管理するため、市民協働で整備された17.2haの里山公園。年間3.3万人が来園し、その内1.5万人にプログラム提供を行っています。



南アルプス生態邑(山梨県早川町) 南アルプス野鳥公園・光源の里温泉ヘルシー美里

指定管理: 2008～

宿泊施設を活かした環境教育研修のプログラムを提供しています。野生生物や体験学習を熟知するスタッフが、自然や文化の特徴を生かした感動体験を提供し、人と野生生物が共に暮らせる地域づくりを進めています。



南アルプス市 エコパ伊奈ヶ湖(山梨県南アルプス市) 2016～

楯形山の中腹に位置し、「南アルプスユネスコエコパーク」の登録地内にある施設です。エコパークを体感できる森として、キャンプ、バーベキューをはじめ、様々な環境教育プログラムを提供しています。



自然ふれあい情報館 (東京都北区) 2003～

区内の自然情報収集・提供、人材育成の拠点として整備された環境学習施設。ビジターセンターとして年間4.2万人にプログラムを提供し、環境リーダー養成講座も運営しています。



みどりと環境の情報館 (東京都北区) 2018～

みどり(緑化)への関心や興味を深めることを目的とした環境学習施設。園芸教室の開催や花壇を使った自然体験、園芸・環境などのプログラムを常時提供しています。



水元かわせみの里(東京都葛飾区)

1999～



2007～
水元小合溜水質浄化センターに設置されたビジターセンター。施設周辺の自然情報を様々な展示物で紹介するほか、ほぼ毎日行われるガイドや、年24回行われる講座などを通じ、年間約3万人にプログラムを提供しています。

環境教育の実践・コンサルティング

環境教育の黎明期から活動しています。日本で初めてワークショップを基に環境学習ガイドブックを作成(千葉県)。その後、多くの地域で環境教育の人材育成や教材づくり、地域づくりを進めています。



1993年の千葉県を始め、福井県・大分県などのガイドブックの作成。1993年「環境教育に配慮した公園緑地の整備・管理等に関する調査」、2002年「国営アルプスあつみの公園・市民参加による公園利用促進計画の策定」、2006年「国営海の中道海浜公園・環境共生の森育成・環境学習プログラム運営」、2019年「堺市・幼児期における自然環境を通じたあそびと学びに関する調査研究業務」など、全国で環境教育に関する計画づくりをお手伝いしています。



国営アルプスあつみの公園サイン計画



地球市民村「お庭のエコロジー」館

2000年の「山口きらら博・環境学習部門のプロデュース、展示教材の作成」、2003年「愛・地球博/地球市民村出展準備ワークショップの企画運営」など、大規模な展示企画・制作から、1996年「東京都環境教育学習教材の作成」、1998年「プロジェクト・ワイルド教材作成」、2000年「じよんのびマップ/街歩きマップコンテスト金賞」の作成などを担当しています。2014年、神代植物園植物多様性センターにおいて、東京都の植物の多様性を紹介する常設パネル展示を作成しています。

1991年千葉県「エコマインド養成講座」を皮切りに、東京都環境学習リーダー養成講座、プロジェクト・ワイルド指導者養成講座などを受託。2002年からはNPO法人生態教育センターと協働し、全国の施設にスタッフを派遣するとともに、保育ナチュラリストの資格認定や海外研修など、日本の環境教育に係る人材を数多く育成しています。



NPO法人生態教育センターとの協働

- 自然発見館(国営木曽三川公園 河川環境楽園) 1999～
http://www.kisosansenkoen.jp/~kasenkankyou/mkasen_goannai.html
国営公園における環境教育の拠点として、公園管理センターとのパートナーシップのもと、年間230クラスを超える学校団体から、1万人を超える一般利用者まで、日本で最も幅広く多様な環境教育プログラムを提供しています。
- 習志野市谷津干潟自然観察センター(千葉県習志野市) 指定管理: 2015～
<http://www.seibu-la.co.jp/yatsuhigata/>
東京湾最奥部にあるラムサール条約登録湿地・谷津干潟。都市と自然の共生を目指して、年間約4万3千人の来館者に自然解説や環境教育プログラムを提供し、地球環境の保全を担う人材育成に取り組んでいます。
- 鳥類園(東京都江戸川区 葛西臨海公園) 2004～
<http://choruien2.exblog.jp/>
東京湾岸の都立公園内にある、野鳥をはじめとした野生生物のための自然を再生した保護区=サンクチュアリ。土日祝日の解説活動や野生動物の生育・生育地の管理、環境教育プログラムの提供などを行っています。
- 桜丘すみれば自然庭園(東京都世田谷区) 2004～
<http://sumireba.exblog.jp/>
昭和初期に武蔵野の風景を再現してつくられた邸宅の跡地を世田谷区が取得。地域住民との協働によって自然庭園として生まれ変わりました。解説員(インタープリター)を派遣し、自然情報や体験プログラムを提供しています。